

新西町内会広報

発行責任者
小関 日出男

小春日和の日に「秋季清掃・防災訓練」が実施

秋の行事が盛り沢山！

防災の日からひと月遅れの10月1日(日) 天候不良で寒い日が続いていたが、この日だけ小春日和の見本みたいな日になり、「秋季清掃」「防災・初期消火訓練」が行われた。

◆秋季の町内会地域内の清掃

清掃には町内の有志、高等支援学校関係者40名程の参加があった。旭西第一公園では悪天候続きで木々の折れた枝が多数散乱し片付けに手を焼いた。

六条西の通りには高等支援学校の松や桜の枯れ枝がベツタリと道路に張り付き取り除くのに苦労した。また、縁石沿いの隙間に根を張る雑草との格闘は汗が出るほどだった。きれいになって少し満足、ご苦労様でした。(小関)



◆自主消火 消防車の来れないとき

配布されたウーロン茶と黒あめで一息入れ「防災初期消火訓練」を消防署の指導の下に行った。

支援学校裏庭にある「自主防災資器材」格納庫からポンプ、ホースなどを運び出しポンプのエンジン掛け操作方法を学び放水の訓練Ⅱ写真Ⅱを実施した。

自主消火器材は消防車が来られない大規模な災害時には使ってもらいたいが、普段はⅡ番して下さい。(消防署)

その後、家庭用消火器による訓練を実施Ⅱ写真Ⅱした。家庭用はあくまでも初期消火のときで、火が天井まで上がったときは消せないのので逃げて下さい。(消防署)



◆落語で米寿を祝う

9月16日土曜日の午後、米寿表彰と落語を楽しむ会が新西会館で開かれた。

米寿対象は昭和3年10月から翌年の9月までに生まれた7名の方(別記のとおり)が該当し、表彰状と記念品が岡本会長より手渡され、お祝いに集まった28名の拍手で感謝と健康を祈念した。

◇ ◇

第二部は落語。今年もナナカマド紅丸大家さん率いる旭笑長屋の面々が登場。病院ネタで4人が共に笑いをとっていたとの由。

さて、その落語、その昔、お坊さんの説教が大衆に受けない(下手で長いのは今も変わらない)ので、何とか聞き入れてもらえないかとの思案から始まったのが起源と言う。その名残が一段高い席から話す高座。笑いの中に人生のエキス感じましたか。

所用が長引き、後片付けには間に合った次第、中身の面白い記事でお許しを。お後がよろしいようで。(小関)



◆しんせいレンジャー育成講座

9月21日開催「しんせいレンジャー育成講座」Ⅱ写真Ⅱには18人が出席した。

講師の市防災課金子主幹から、避難行動要支援者への支援における心構えについて説明等があり、町内会事業担当からは、チャレンジ事業の取



▼米寿表彰者

(敬称略)

- 野寺 真理子
- 大下 浪雄
- 庄司 敬三
- 黒田 光男
- 小口 美枝子
- 堀地 昭男
- 亀井 輝男



【上】米寿者を代表して大下さんから挨拶
【下】ナナカマド紅丸さんの高座

◆秋晴れにランドゴルフ楽しむ

組状況の報告のほか、今後の予定などの説明があった。なお、講師から、「災害時は何よりも心配りが大切」、「避難行動時における支援等は、各自ができる範囲のことをやってほしい」などと話があった。(小野寺)

9月24日初秋の晴れた日曜日、旭西第一公園で新西クラブとの共催でランドゴルフ大会が14名の参加者により行われた。

優勝は高桑さん。なお、ベテランの春田さんは「ホールインワンしたときは気分爽快。少なくて回れたときも爽快」と話していた。(小関)



加藤さんのナイスショット

◆支援学校生が会館を清掃!



丁寧にパソコン室の窓ガラスふき(10月17日)

◆ストレッチング実技研修会



10月16日のストレッチングに15人が参加

編集後記

民生委員の方から「独居老人なので連絡先を知らせて」と言われ、俺が独居老人?言われてみれば「そうだな」と納得した矢先に風邪に見舞われて四日も寝込んだ。

▼冷蔵庫を開ければ俵らが来たときの白飯がタツパに残っているだけ。食欲もなくミカンとブドウをつまみ、話す相手がなく朝晩女房からの電話のみ。独居老人生活を体験した▼先日、フィール地下のラーメン屋でこんな光景に出くわした。同年配の夫婦者と見られる二人づれが、食べたいラーメンが相談しても決まらず迷っており、その後若者がジッと起つていた▼やっと決まり取り出したお金が一万円札。今度は探しても投入口が見つからず、結局、店員にくだいてもらい、やっと食券を手にする事が出来て、後の青年も一安心▼JR札幌駅で行き先をさがしていたら後に人が並んでいたのを思い出す▼販売機には不慣れ、なにをするにもスローモー、せめて周りに気を配る、そんな老人になりたいと思った次第。(小関)